【資料３】

平 成 30 年 7 月
農林水産省　消費・安全局
動　物　衛　生　課

第８回口蹄疫及び鳥インフルエンザの防疫に係る日中韓等東アジア地域シンポジウム*1 及び越境性動物疾病への対応に関する日中韓の協力覚書に基づく第２回ワーキンググループ及び第４回運営委員会*2

平成 30 年６月 21 及び 22 日、韓国・ソウルにおいて日中韓の動物疾病に対する協力枠組み*1,2 の下に開催された標記会合に参加。今回、OIE 事務局長、中国蘭州獣医研究所長、韓国農林畜産食品部副部長及び首席獣医官等が出席。

*1　FMD 及び HPAI 防疫に関する日中韓等東アジア地域シンポジウム：2010 年５月、日中韓サミットで発表された「日中韓協力ビジョン 2020」に基づき開催

*2　ワーキンググループ（FMD、AI、AMR）会合及び運営委員会：2015 年９月、第２回日中韓農業大臣会合で３カ国の農業大臣が署名した「越境性動物疾病への対応に関する日中韓の協力覚書」に基づき開催

本会合のあらゆる機会を捉えて各国当局関係者と動物衛生に関する状況や防疫措置等について情報収集及び意見交換を行い、日中韓の協力及び連携を更に推進。

＜概要＞

１．第８回 FMD 及び HPAI 防疫に関する日中韓等東アジア地域シンポジウム（６月 21 日（10:00～17:50））

OIE 事務局長から「動物衛生のための挑戦と OIE 活動」に関して基調講演を行った後、各国から FMD 及び HPAI の最新の状況、サーベイランス、検査手法、予防・防疫対策等について説明し、質疑応答を実施。

２．越境性動物疾病への対応に関する日中韓の協力覚書に基づく第２回ワーキンググループ（WG）及び第４回運営委員会（６月 22 日（9:30～12:30））

３つの WG 毎に昨年作成した FMD、AI、AMR に関する作業計画案の進捗を確認するとともに課題を抽出し、対処方針及び今後の協力案を作成。

特に、疾病等情報及びリスク管理措置共有の推進（FMD、AI、AMR）、水際防疫（AI）及びサーベイランス（FMD）等の疾病対策の強化、渡り鳥の調査及び疫学調査（AI）、検査手法の信頼性確保及び開発（FMD）等について意見交換を実施。

また、獣医疫学国際ワークショップ（22 日（14:00～18:00））に参加し、日本の AI の疫学調査及び防疫対応等に関して発表するとともに、各国担当者と意見交換を実施。